

第2期 川口市まち・ひと・しごと 創生総合戦略

選ばれるまちづくりの推進

【まち】の特色を活かして
多くの【ひと】に選ばれ
市内外の【しごと】からたくさんの所得を得る

令和3年4月
川口市

目次

1 序論	1
(1) 策定の経緯	1
(2) 計画期間	2
(3) 第5次川口市総合計画との関係	2
(4) 進行管理（PDCAサイクル）	2
(5) 策定にあたっての基本的な考え方	3
(6) 人口ビジョンを踏まえた将来の方向性	4
2 本論	5
(1) 基本戦略	5
(2) 施策の方向性	6
【基本目標1】市内経済好循環を強化する	7
【基本目標2】新たなひとの流れをつくる	9
【基本目標3】次代を担う人材を育てる	12
【基本目標4】安全・安心な暮らしを実現する	14
(3) 主な取り組み	18

1 序論

(1) 策定の経緯

国は、急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、出生率の低下によって引き起こされる人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力のある日本社会を維持することを目的として、平成26年11月、「まち・ひと・しごと創生法」を施行し、同年12月に「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」（長期ビジョン）及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（国総合戦略）を策定しました。

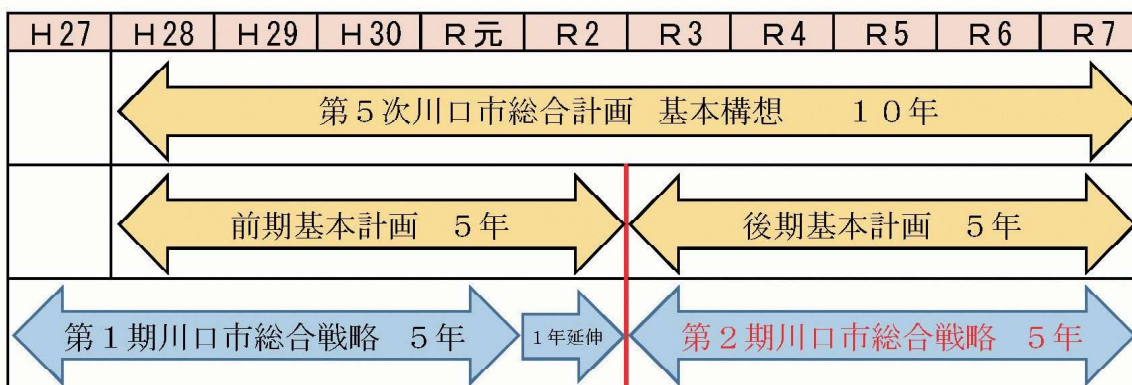
国総合戦略では、長期ビジョンを踏まえ、人口減少と地域経済縮小の克服及びまち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を基本的な考え方に位置付け、平成27年度を初年度とする5年間の政策目標や施策の基本的方向、具体的な施策が示されました。

本市においては、国に呼応し、「川口市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」（人口ビジョン）及び「川口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（第1期川口市総合戦略）を策定し、平成27年度から令和2年度までの6年間にわたり、本市の特性に即した地方創生を推進してきましたが、計画期間が満了することから、これまでの成果や課題を踏まえ、第2期「川口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（第2期川口市総合戦略）を策定するものです。

(2) 計画期間

第2期川口市総合戦略の計画期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間として設定します。

また、「第5次川口市総合計画後期基本計画」(後期基本計画)の計画期間と合わせて策定することにより、今後、本市の最上位計画である総合計画との整合を図り、より一体的で効率的・効果的な推進を図ります。



(3) 第5次川口市総合計画との関係

本市は、第5次川口市総合計画を策定し、将来都市像「人としごとが輝くしなやかでたくましい都市 川口」の実現に向けて、総合的かつ計画的な市政運営に取り組んでおり、令和3年度から令和7年度を計画期間とする後期基本計画において、基本構想で掲げた6つのめざす姿を実現するための施策を分野別、体系的にまとめています。

第2期川口市総合戦略は、まち・ひと・しごと創生の観点から、後期基本計画の再構築を図った総合的かつ体系的な計画(戦略)という位置付けとなり、各施策を推進するための具体的な事業実施は、後期基本計画実施計画において合わせて行います。

(4) 進行管理(PDCAサイクル)

進行管理についても、後期基本計画実施計画における毎年の見直しに合わせ、各基本目標に設定した数値目標及び重要業績評価指標(KPI)による検証・改善を行います。

(5) 策定にあたっての基本的な考え方

令和元年12月、国は第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」(第2期国総合戦略)を策定し、これまでの5年間で進められてきた施策の検証を行い、令和2年度を初年度とする5年間で、「将来にわたって『活力ある地域社会』の実現」と「『東京圏への一極集中』の是正」をめざすこととしています。

地理的・経済的に東京圏に位置する本市においては、現段階では、人口増加の状態にあるものの、将来の人口減少・少子高齢化を見据え、国及び県の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の方向性や以下の視点に留意しながら、本市の長期的・持続的発展に向け、戦略を策定します。

ア 多様な人材の活躍推進

社会の構造的な変化に立ち向かうためには、地域の実情に応じた社会全体での協力が必要であり、女性、高齢者、障害者、外国人など多様な人材が活躍できる環境づくりを推進します。

イ 地域間のつながり・連携の構築

地域に住む人々だけでなく、地域に必ずしも居住していない地域外の人々に対しても、地域の担い手としての活躍を促すことは、地域活力の維持・発展のために必要不可欠なものであることから、地域に多様な形で関わる、「関係人口」を地域の力にしていくことをめざします。

また、地域に訪れ、住み続けたいと思えるような地域をつくるために、他の地域との連携の視点を持ちながら、地域資源を最大限に活用し、新たな価値を創造することが重要となります。

ウ 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた取り組み

本市が抱える課題には、従来からの課題に新型コロナウイルス感染症に伴う課題が加わり、複合的なものとなっています。

こうした感染症の影響を踏まえた、ひと・しごとの流れの新たな動きに対応し、「三つの密」の回避や検査体制の充実等、感染症が拡大しない地域づくりが重要となります。

エ 新しい時代の流れを力にする

さまざまな分野において、AI、IoT、ロボット、自動運転など Society5.0 の実現に向けた先進技術を取り入れることで、デジタル・トランスフォーメーション(DX)を推進し、社会課題の解決と生産性・利便性の向上による経済的発展等を図っていくことで、地域の魅力を高め、人を呼ぶ好循環を生み出します。

(6) 人口ビジョンを踏まえた将来の方向性

ア 持続可能性を高める人口構成の追求

成熟社会が到来し、全国的に人口が減少している中で、本市のみが人口増加を続けることは現実的とはいえません。今後は、一定程度の人口減少は許容しつつ、子育て支援の充実等による人口の年齢バランスの改善や高齢者層の健康寿命の延伸などの施策の実施を通じて、都市の持続可能性を確保できる人口規模や年齢構成を追求していくことが求められています。

イ 都市の魅力の向上

本市は近隣都市や類似都市などと比較しても、人口の出入りが少ない安定した都市であります。高校生などの若い世代の将来の居住意向が低いなどの問題を抱えています。そのため、若い世代にも居住地・定住地として魅力を感じられるよう、教育環境や子育て支援の充実、防災・防犯などの地域の安全性の向上、買い物や交通などの利便性の向上、豊かな水や緑の資源の活用など、生活空間としての魅力向上を図っていくことが求められています。

ウ 市内での経済循環のしくみの構築

本市は、東京のベッドタウンとして人口が増加してきていることから、都内への通勤者が多く、雇用所得は市外からの流入が多い一方で、川口駅周辺以外には大きな商業的な集積がないこともあり、民間消費が市外に流出するという構造を持っています。

本市では、鋳物、機械関連産業をはじめとしたものづくり産業及び植木を中心とする花き生産などの緑化産業が伝統的な産業として存在していますが、これらの産業に加えて、付加価値の高い生産用機械器具製造業、印刷・同関連業、雇用力の高い飲食店、医療業などのサービス関連業及びその他幅広い業種の産業振興、そして将来に向けて、本市の次代を担う産業を育成していくことにより、市内での雇用の場を創出していくことが求められています。

また、市内での民間消費を高めるために、鉄道駅などの人が集まる空間における商業施設や生活サービス施設などの集積を促進するなど、身近な場所での魅力ある商業空間の形成を図っていくことも求められています。

2 本論

(1) 基本戦略

**【まち】の特色を活かして
多くの【ひと】に選ばれ
市内外の【しごと】からたくさんの所得を得る**

本市が今後も持続的に発展していくためには、人口減少期の到来に先んじて市内経済の好循環を形成し、市民所得が市外消費によって流出することを防ぐとともに、市内消費の増加によって、市内生産に、より多くの所得を還流させ、市内勤労者の給与収入の増加につなげる必要があります。

併せて、本市の特性を活かし、さらなる選ばれるまちづくりを推進することにより、居住者を増やし、市民所得の総額の増加と定住につなげることも必要です。

こうした視点から第1期の基本戦略である「【まち】の特色を活かして、多くの【ひと】に選ばれ、市内外の【しごと】からたくさんの所得を得る」ことを第2期においても踏襲します。

主要指標

項目	現状値	目標値
人口	60.7万人 (令和3年1月1日時点)	61.5万人
市内勤労者所得	2,620億円 ¹ (全国値 2,316,046億円)	全国の伸び率を上回る
市外勤労者所得	10,317億円 ² (全国値 2,316,046億円)	全国の伸び率を上回る

¹ 令和元年分(平成31年1月1日～令和元年12月31日分)

² 令和元年分(平成31年1月1日～令和元年12月31日分)

（２）施策の方向性

本市の人口分析、将来の方向性、第１期川口市総合戦略の成果や課題等を踏まえ、第２期川口市総合戦略における施策の方向性を整理し、次の４つの基本目標を定めました。

基本目標１ 市内経済好循環を強化する

これまで行ってきた市産品フェア事業、市内事業者への優先発注等のさらなる促進により、鋳物や植木などの伝統産業をはじめとした市内産業基盤を強化し、地産地消を基軸とした地域経済を活性化します。

基本目標２ 新たなひとの流れをつくる

豊かな自然環境を守り、多様な地域資源を活かしつつ、利便性の高い都市環境・魅力的なまちづくりを進め、まちの賑わいを創出します。

さらに、本市の魅力を最大限発信していくことで、地域活力の向上につながる人の流れを創出します。

基本目標３ 次代を担う人材を育てる

多様化する保育ニーズに対応するとともに、安心して子育てができるよう、切れ目ない支援の充実を図ります。

また、将来を担う子どもたちが、心身ともに健やかに成長し、のびのび学ぶことができるよう、川口市立高等学校を核とした教育環境の向上に努め、質の高い教育を実現します。

基本目標４ 安全・安心な暮らしを実現する

地域防犯力の一層強化、今後発生が予想される大規模災害や感染症への対応など、市民の暮らしを守る環境の整備・充実に努めます。

また、在宅医療・介護連携の推進による支援体制の強化や、高齢者等の日常生活を支援するなど、暮らしやすいまちを実現します。

○総合戦略の４つの基本目標と２３の施策



【基本目標 1】 市内経済好循環を強化する



数値目標	現状（年度）	目標値（R7）
市内総生産額 [億円]	14,466 (H29)	県内市町村における伸び率を上回る
総支出額（地域内ベース） [億円]	14,007 (H27)	10%上回る

〈具体的な施策〉

施策1 地域経済基盤づくり【Ⅲ-1】

- 企業の経営基盤の強化を支援し、さらに市産品のブランド化や販売促進に力を注ぐことで市内産業の経済活動を活発化します。

★重要業績評価指標（KPI）

- ・この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]
現状（年度） 30.3（R2） / 目標値（R7） 現状値を上回る
- ・技能検定等受検手数料助成金交付件数 [件]
現状（年度） 42（R1） / 目標値（R7） 100
- ・市内総生産額 [百万円]
現状（年度） 1,446,635（H29） / 目標値（R7） 県内市町村における伸び率を上回る

施策2 活力ある工業等の振興【Ⅲ-2】

- 高い技術力を活用した製品の高付加価値化や積極的なPRといった差別化を図る活動を支援し、ものづくり産業の振興を図ります。

★重要業績評価指標（KPI）

- ・この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]
現状（年度） 40.5（R2） / 目標値（R7） 現状値を上回る
- ・従業者数（製造業） [人]
現状（年度） 22,866（H30） / 目標値（R7） 全国における伸び率を上回る
- ・製造品出荷額 [百万円]
現状（年度） 495,006（H30） / 目標値（R7） 全国における伸び率を上回る

施策3 活気ある商業の振興【Ⅲ-3】

●人々が買い物を楽しめる商業環境づくりと、地域に密着した商店街の魅力づくりを支援し、商業の振興を図ります。

★重要業績評価指標（KPI）

- ・この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]
現状（年度） 63.9（R2） / 目標値（R7） 現状値を上回る
- ・従業者数（卸売業・小売業） [人]
現状（年度） 30,842（H28） / 目標値（R7） 全国における伸び率を上回る
- ・年間商品販売額 [百万円]
現状（年度） 1,122,968（H28） / 目標値（R7） 全国における伸び率を上回る

施策4 魅力ある農業の振興【Ⅲ-4】

●歴史と伝統を誇る植木を中心とする花きや野菜といった本市の農産物（生産地）のブランド力向上と販路拡大を図るとともに、首都圏で貴重な農地を保全する仕組みをつくることで、都市農業の振興につなげていきます。

★重要業績評価指標（KPI）

- ・この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]
現状（年度） 49.9（R2） / 目標値（R7） 現状値を上回る
- ・市内総生産額（農業） [百万円]
現状（年度） 1,516（H29） / 目標値（R7） 県内市町村における伸び率を上回る
- ・市民農園区画数 [区画]
現状（年度） 741（R1） / 目標値（R7） 951

注）各施策名の右【 】内は、後期基本計画での位置付けです。

例）【Ⅰ-1】 → めざす姿Ⅰの施策1

【基本目標2】新たなひとの流れをつくる



数値目標	現状（年度）	目標値（R7）
市内9駅の1日平均乗降者数 [人]	484,590 (R1)	492,000 を上回る

〈具体的な施策〉

施策5 地域資源の活用【Ⅲ-5】

- 本市が持つ多種多様な魅力と誇りを育み、市内外に発信していくことで、多くの交流や活動を生み出し、まちを元気にしていきます。

★重要業績評価指標（KPI）

- ・この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]
現状（年度）35.0 (R2) / 目標値 (R7) 現状値を上回る
- ・記者会見・記者懇談会資料提供件数 [件]
現状（年度）33 (R1) / 目標値 (R7) 40
- ・川口市公式 Twitter フォロワー数 [人]
現状（年度）2,365 (R1) / 目標値 (R7) 10,000

施策6 豊かな水と緑に親しめる空間の創出【Ⅳ-1】

- 本市に広がる貴重で豊かな自然環境を守り、市民が自然を身近に感じながら生活できるよう、水と緑に親しめる憩いとやすらぎの空間を創出します。

★重要業績評価指標（KPI）

- ・この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]
現状（年度）51.7 (R2) / 目標値 (R7) 現状値を上回る
- ・親水護岸の整備延長 [m]
現状（年度）2,110 (R1) / 目標値 (R7) 3,240
- ・保全すべき緑地の確保 [㎡]
現状（年度）185,003.32 (R1) / 目標値 (R7) 200,000.00

施策7 住・工・商・緑が共存した計画的な土地利用の推進【V-1】

- 適正な土地利用と適切な都市機能の配置を図り、環境にやさしく災害に強い、機能的で、誰もが快適で安全・安心に生活できる持続可能な都市の形成をめざします。

★重要業績評価指標（KPI）

- ・この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]
現状（年度）27.5（R2）／目標値（R7）現状値を上回る
- ・土地区画整理事業の進捗率【11地区】 [%]
現状（年度）58.0（R1）／目標値（R7）65.0

施策8 安全・安心・快適な移動を支える交通環境の整備【V-2】

- 交通の安全を確保するとともに、誰もが安心・快適に移動できる交通ネットワークを構築し、まちの活性化や地域活力の向上に寄与する交通環境を整備します。

★重要業績評価指標（KPI）

- ・この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]
現状（年度）45.4（R2）／目標値（R7）現状値を上回る
- ・コミュニティバスの利用者数 [人]
現状（年度）355,113（R1）／目標値（R7）372,000
- ・交通事故発生件数 [件]
現状（年度）1,707（R1年中）／目標値（R7）減少を図る

施策9 市民が元気に活動するための環境づくり【VI-1】

- 市民の自発的な活動を促すとともに、それらの活動の成果を地域にも還元できるような環境づくりを進め、市民の手で地域全体が元気になるようなまちをめざします。

★重要業績評価指標（KPI）

- ・この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]
現状（年度）33.9（R2）／目標値（R7）現状値を上回る
- ・町会・自治会加入率 [%]
現状（年度）58.0（R1）／目標値（R7）60.0
- ・NPO法人・ボランティア団体数 [団体]
現状（年度）375（R1）／目標値（R7）405

施策10 市民と行政の相互協力【VI-2】

- 市民が市政に参加しやすく、その意義を実感できる環境づくりを進め、市民と行政の相互協力によるまちづくりをめざします。

★重要業績評価指標（KPI）

- ・この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]

現状（年度） 18.2（R2） / 目標値（R7） 現状値を上回る

- ・市の附属機関等の公募委員の応募倍率 [倍]

現状（年度） 2.4（H27～R1の平均値）（R1）

/ 目標値（R7） 今後5年の平均値が現状値を上回る

注）各施策名の右【 】内は、後期基本計画での位置付けです。

例）【I-1】 → めざす姿Iの施策1

【基本目標3】次代を担う人材を育てる



数値目標	現状 (年度)	目標値 (R7)
年少人口の割合 [%]	12.49 (R2)	現状を上回る
川口市立高等学校の4年制大学への進学者割合 [%]	60.4 (R1)	95
川口市立高等学校の国公立大学への進学者割合 [%]	3.5 (R1)	15

〈具体的な施策〉

施策11 健やかな子育て・子育て環境づくり【I-2】

- 健やかな子どもの成長を支え、子育て・子育て環境といえば川口市と言われるような、安心で楽しい子育て・子育て環境を整えます。

★重要業績評価指標 (KPI)

- ・この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]
 現状 (年度) 38.3 (R2) / 目標値 (R7) 現状値を上回る
- ・保育所等の待機児童数 [人]
 現状 (年度) 38 (R2) / 目標値 (R7) 0

施策12 子どもがのびのび学べる環境づくり【II-1】

- 子どもたちが、さまざまな体験や学びを通じて自身の夢や希望を持ち、積極的に挑戦し続けられるよう、知・徳・体の調和のとれた人間形成をめざします。

★重要業績評価指標 (KPI)

- ・この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]
 現状 (年度) 28.2 (R2) / 目標値 (R7) 現状値を上回る
- ・埼玉県学力・学習状況調査結果において県平均を上回る項目数 (全 14 項目) [項目]
 現状 (年度) 9 (R1) / 目標値 (R7) 10
- ・新体力テストの達成度 (小 6) [%]
 現状 (年度) 56 (R1) / 目標値 (R7) 56
- ・新体力テストの達成度 (中 3) [%]
 現状 (年度) 56 (R1) / 目標値 (R7) 68

施策13 子どもの成長をサポートする基盤づくり【Ⅱ-2】

- 学校・家庭・地域と行政が相互に補完・連携しながら、さまざまな社会経験の場や見守りの機会を増やし、子どもの成長をサポートする基盤をより強固なものにしていきます。

★重要業績評価指標（KPI）

- ・この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]
現状（年度） 35.1（R2）／目標値（R7） 現状値を上回る
- ・不登校児童の割合（小学校） [%]
現状（年度） 0.74（R1）／目標値（R7） 現状値を下回る
- ・不登校生徒の割合（中学校） [%]
現状（年度） 4.25（R1）／目標値（R7） 現状値を下回る
- ・地域の人に勉強や運動を教えてもらっていると感じている児童の割合（小6） [%]
現状（年度） 41.8（R1）／目標値（R7） 現状値を上回る
- ・地域・社会をより良くするための参画意識（中3） [%]
現状（年度） 35.3（R1）／目標値（R7） 現状値を上回る

施策14 市民が自己実現をめざせる環境づくり【Ⅱ-3】

- 自己実現をめざす市民の多様な学習・活動意欲の高まりに対応するため、さまざまな支援を行い、一人ひとりの個性や魅力を伸ばす環境をつくりまします。

★重要業績評価指標（KPI）

- ・この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]
現状（年度） 34.4（R2）／目標値（R7） 現状値を上回る
- ・生涯学習施設の利用者数 [人]
現状（年度） 6,202,448（R1）／目標値（R7） 6,559,586

注）各施策名の右【 】内は、後期基本計画での位置付けです。

例）【Ⅰ-1】 → めざす姿Ⅰの施策1

【基本目標4】安全・安心な暮らしを実現する



数値目標	現状（年度）	目標値（R7）
川口市民の65歳健康寿命（男性） [年]	16.90（H30）	17.74
川口市民の65歳健康寿命（女性） [年]	20.00（H30）	20.89
刑法犯認知件数 [件]	4,997（R1 年中）	8%減少を図る

〈具体的な施策〉

施策15 健康を育むまちづくり【I-1】

- 市民の健康への関心を高めて自発的な健康づくりと疾病予防を促し、それを支える保健・医療体制を充実させることで市民の“健康寿命”を伸ばします。

★重要業績評価指標（KPI）

- ・この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]
 - 現状（年度） 47.1（R2） / 目標値（R7） 現状値を上回る
- ・川口市民の65歳健康寿命（男性） [年]
 - 現状（年度） 16.90（H30） / 目標値（R7） 17.74
- ・川口市民の65歳健康寿命（女性） [年]
 - 現状（年度） 20.00（H30） / 目標値（R7） 20.89

施策16 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり【I-3】

- 急速な高齢化が進展する中、住みなれた地域で高齢者が元気に生きがいを持ち、いかなる心身の状態にあっても、地域で安心して暮らせる環境づくりを推進します。

★重要業績評価指標（KPI）

- ・この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]
現状（年度）27.7（R2）／目標値（R7）現状値を上回る
- ・要介護認定を受けている高齢者の割合 [%]
現状（年度）16.2（R2）／目標値（R7）R7年の推計値を下回る
- ・生活機能が低下した高齢者の介護予防教室の参加者数 [人]
現状（年度）639（R1）／目標値（R7）704

施策17 誰もが安心して生活できる環境づくり【I-4】

- 子どもから高齢者まで、年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もがその人らしく、安心して充実した生活ができる環境を整えます。

★重要業績評価指標（KPI）

- ・この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]
現状（年度）31.0（R2）／目標値（R7）現状値を上回る
- ・障害者相談支援センターの相談件数 [件]
現状（年度）41,847（R1）／目標値（R7）62,355

施策18 互いに尊重・理解し合う環境づくり【II-4】

- さまざまな交流や啓発の機会を設け、誰もがお互いを尊重・理解し合える環境を整え、人権を尊重し、差別のない、みんなで支え合うまちをめざします。

★重要業績評価指標（KPI）

- ・この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]
現状（年度）35.0（R2）／目標値（R7）現状値を上回る
- ・各種審議会・委員会への女性の登用率 [%]
現状（年度）28.5（R2）／目標値（R7）35.0
- ・多文化共生関連事業の参加者数 [人]
現状（年度）1,539（R1）／目標値（R7）外国人人口の伸び率を上回る

施策19 環境の保全と創造【IV-2】

- 市民とともに環境問題に対する意識を高め、良好な生活環境の保全と地球温暖化の防止に向けた取り組みを積極的に推進し、安心して生活できる環境をめざします。

★重要業績評価指標（KPI）

- ・この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]
現状（年度）15.8（R2）／目標値（R7）現状値を上回る
- ・市域の温室効果ガスの排出量 [千 t-CO₂]
現状（年度）2,412.0（H28）／目標値（R7）2,173.0

施策20 廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進【IV-3】

- 廃棄物の発生抑制や適正な処理、循環資源利用の促進により、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り低減した循環型社会の形成を推進します。

★重要業績評価指標（KPI）

- ・この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]
現状（年度）41.6（R2）／目標値（R7）現状値を上回る
- ・1人1日あたりの廃棄物排出量 [g/人・日]
現状（年度）826（R1）／目標値（R7）784

施策21 安全・安心な上下水道サービスの提供【V-3】

- 災害に強く、いつでも安心して上下水道を利用できる環境をつくとともに、安全な水道水の提供と、公共用水域の水質保全を推進します。

★重要業績評価指標（KPI）

- ・この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]
現状（年度）66.7（R2）／目標値（R7）現状値を上回る
- ・水道水の有収率 [%]
現状（年度）90.13（R1）／目標値（R7）91.14
- ・配水管網の耐震化率（管路全体） [%]
現状（年度）22.72（R1）／目標値（R7）30.15
- ・配水管網の耐震化率（基幹管路） [%]
現状（年度）81.34（R1）／目標値（R7）90.48
- ・下水道処理人口普及率 [%]
現状（年度）87.6（R1）／目標値（R7）89.6

施策22 さまざまな災害や犯罪などの脅威から市民を守るまちづくり【V-4】

- あらゆる危機から市民の生命と財産を守るため、体制の充実・強化を図るとともに、市民の防災・防犯意識を高め、市民と行政が一体となって危機に強いまちをつくります。

★重要業績評価指標（KPI）

- ・この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]
現状（年度）32.0（R2）／目標値（R7）現状値を上回る
- ・防災訓練参加者数 [人]
現状（年度）57,302（R1）／目標値（R7）106,490
- ・刑法犯認知件数 [件]
現状（年度）4,997（R1 年中）／目標値（R7）8% 減少を図る
- ・出火率 [件 / 万人]
現状（年度）2.3（R1 年中）／目標値（R7）減少を図る

施策23 行政経営の基盤強化【VI-3】

- 中核市に相応しい行政経営と、効果的かつ効率的な行財政運営を進めます。

★重要業績評価指標（KPI）

- ・この施策の推進が図られていると感じる人の割合 [%]
現状（年度）16.5（R2）／目標値（R7）現状値を上回る
- ・経常収支比率 [%]
現状（年度）95.4（R1）／目標値（R7）90% 台前半
- ・市税収納率（現年度分・滞納繰越分） [%]
現状（年度）97.19（R1）／目標値（R7）県内の上位
- ・国保税収納率（現年度分） [%]
現状（年度）88.60（R1）／目標値（R7）中核市の平均

注) 各施策名の右【 】内は、後期基本計画での位置付けです。

例)【I-1】 → めざす姿 I の施策 1

(3) 主な取り組み

【基本目標1】 市内経済好循環を強化する



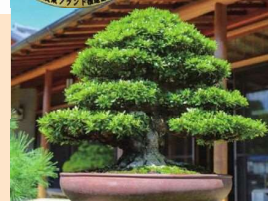
Kawaguchi Products Fair
川口市市産品フェア 2020

市産品フェア事業

「川口市市産品フェア」の開催により、市内企業の販路拡大と発展を図るとともに、地域経済の活性化を図ります。

地域農業活性化事業

地域における特色ある農産物のブランド力強化などにより、販路拡大を図ります。



- ・市内事業者への優先発注の推進
- ・工業振興事業(川口市産品公共工事活用促進制度)
- ・商店街活性化事業 など

【基本目標2】 新たなひとの流れをつくる



自然保護対策事業

グリーンセンター、イイナパーク川口、戸塚環境センターなどを連携させ自然保護の拠点として整備します。

文化芸術の高揚

中核市川口にふさわしい文化芸術の高揚を図るため、美術館の建設をめざします。

- ・シティプロモーション事業
- ・再開発事業
- ・区画整理事業
- ・SKIPシティ整備事業 など



【基本目標3】 次代を担う人材を育てる

私立幼稚園の認定こども園への移行促進 保育士賃金補助制度の推進

地域の実情に応じた保育ニーズを把握し、保育所、認定こども園など多様な施設整備を進めるとともに、安全・安心な保育を実現するため、人材の確保と資質の向上を図ります。



川口市立高等学校及び附属中学校を教育拠点とした 学力向上支援・学校教育研修事業

川口市立高等学校を本市の教育拠点とし、学力向上のリーディング校にするため、施設・人材・教材などの充実を図り、中高一貫教育を実施することにより、社会性や豊かな人間性を育成します。

【基本目標4】 安全・安心な暮らしを実現する



治水対策事業

河川と下水道の整備を連携して行い、水路や雨水管の流下・排水・貯留といった各能力を向上させ、自然や地形を活かしながら治水・浸水対策を推進します。

多文化共生推進事業

市民・地域・団体・行政が連携して、異文化を相互に理解し、多文化の交流を推進することにより、多文化共生社会の形成を目指します。



- ・地域包括ケアの推進
- ・防犯カメラ配備事業
- ・橋りょう老朽化対策
- ・水道 耐震化・老朽施設更新
- ・下水道 耐震化・老朽施設の長寿命化
- ・(仮称) 東消防署の建設(鳩ヶ谷分署の建替え)
- ・新型コロナウイルス感染症への感染防止対策(テレワークなどの働き方、DXの推進) など

第2期川口市まち・ひと・しごと創生総合戦略

発行日／令和3年4月

企画・編集／川口市市長室政策審議室

発行者／川口市

〒332-8601 川口市青木2丁目1番1号

電話 (048) 258-1110 (大代表)

選ばれるまちづくりの推進

【まち】の特色を活かして 多くの【ひと】に選ばれ 市内外の【しごと】からたくさんの所得を得る

第2期川口市まち・ひと・しごと創生総合戦略